

執行し小笠流元祿式手藝品、婚禮式と結飾、包物、花結百種、水引、春夏秋冬花結等の陳列ある由當日午前十時より午後五時迄の中に本會々員たる名刺御差出の方は隨意縦覽し得らる、由同氏より申越されたり。

●前號の行の遅延に就て

卷を重ねる六、月を閲みすると六十四本誌は遂に一大改革を斷行するの時期に達し候事誠に快絶の儀に御座候ひき記者また筆硯を新にして益斯界の爲めに盡くす可く覺悟罷在候然るに前號は製版の遅刻其他種々なる事情の爲めに遂に例月の發行期日に間に合ひ申さず發送亦意外に手間取て中には在京會員諸君にして總會の廣告御存知之なき方も御座候ひし由何とも申譯なき次第にて役員一同並に弘道館主の深く陳謝する所に御座候

尚本號以下は準備全く相整ひ候に就き引續き従前通り發行致す可く候に付此儀御諒察下され度候頓首

尚序に編輯員は前號の口繪に名前を取り落したることを茲に御詫び申候該口繪上圖は女子高等師範學校作法教室の景、下圖は同附屬幼稚園三の組室内の景に御座候

會報

●第十一回總會集會 本會第十一回總會集會は豫告の通り去る四月廿一日女子高等師範附屬幼稚園に於て舉行せられたり、當日雜誌發送遅延の爲め總會廣告間に合はざる事もやあらんかと懸念したるに案の定雜誌不着の向き尠なからざる由にて大に恐縮しぬ。然れど幸に例日の事とて問合はされ聞

さ傳へられて會場狭き迄に來會せられたるは幹事一同の大に感謝する所なりき。定刻に及び中村主幹の開會の辭あり。幹事の會務報告(別項)あり、次に元良博士の演説、吉川氏のピアノ獨奏、酒井南陰の講演等あり、終つて陳列品を縦覽し、園遊會を開き茶菓を饗し、一同歡を盡くして全く散會したるは六時稍過ぐる頃なりき。

因に記す、當日會員中女持蠅蝠傘一本を紛失せし方あり、後には他の女持一本残り居り候、會員方の中にて御取違ひの事と存じ候、若し左様の方御座候は、至急御手数ながら附屬幼稚園迄御出で下され度願上候

會務報告(自明治三十八年四月至全三十九年三月)

●當年度に於て遂行せし事項左の如し

- 一、總會 一回
 - 一、常會 四回
 - 一、幹事會 五回
 - 一、雜誌發行十二回(毎月一回宛)
 - 一、各區組合會
- 在京會員を便宜上七區に分ち各組合便宜會合し各自提出せし問題を議し本會常會に於て報告せり、
- 一、講習會
- 昨三十八年七月二十一日より向十日間東京府教育會内に於て幼稚園保育法夏期講習會を開けりこは從來中小學校教員のために種種講習會の權ありて其學力を修補し教授法の改良を計るあれど幼稚園保育法につきては絶えて此權なきを思ひ開催し

たるものなりしが聴講者百五十九名に達し

甚だ好成绩を得たり但し聴講者中九十名

は本會會員六十九名は近くは近縣遠くは朝

鮮臺灣等より出京したる人々なり、

一、幹事 留任幹事、下田、田邊、佐藤、岩井、退
職幹事、野口、雨森、武井、和田、小關、(以上重

任) 平山、新任幹事、大關、

會費收入

自明治三十九年三月廿九日
至全 四月廿五日

金額	年	月	日	姓	名
七〇	三	八	九	田	井
一〇	三	九	三	木	明
一二〇	三	八	一〇	久	保
三〇	三	九	三	宗	秀
一一〇	三	八	五	德	富
二〇	三	八	二	吉	澤
四〇	三	九	三	山	下
二〇	三	九	四	甲	斐
二〇	三	九	七	山	下
二〇	三	八	三	赤	穂
二〇	三	七	一〇	川	上
六〇	三	八	一〇	永	島
一六〇	三	八	二	田	中
二〇〇	三	七	二	服	部

一三〇	三八、一	三九、一	森	山
一五〇	三八、一〇	三九、一二	芳	賀
六〇	三九、三	三九、八	守	永
一五〇	三八、六	三九、八	富	田
四〇	三八、一二	三九、三	上	總
二〇〇	三七、一〇	三九、五	矢	島
一五〇	三八、八	三九、五	青	山
一三〇	三八、四	三九、六	里	村
一三〇	三八、四	三九、四	青	山
二〇	三八、五	四〇、四	鹽	野
七〇	三八、九	三九、三	小	柳
二〇	三九、一	三九、二	進	藤
六〇	三九、一	三九、六	吉	野
一五〇	三八、六	三九、八	石	橋
二〇〇	三八、六	三九、三	服	部
一〇〇	三八、一〇	四〇、五	松	岡
六〇	三七、九	三八、二	福	本
二〇	三八、七	三九、四	小	林
一〇〇	三八、九	三九、八	底	井
一〇〇	三八、一〇	三九、七	藤	森
六〇	三八、二	四〇、一	山	口
二〇	三九、四	三九、八	宇	式
五〇	三九、四	三九、九	鈴	木
二〇	三九、一	三九、二	澤	村
五〇	三九、二	三九、六	村	田
二〇〇	三七、一〇	三九、六	鹽	谷
一〇〇	三八、八	三九、五	木	下
一〇〇	三八、二	三九、九	森	岡

森 山 房 芳 賀 子 守 永 辰 子 富 田 八 千 代 上 總 矢 島 孝 勝 村 孝 青 山 孝 里 村 孝 鹽 野 吉 兵 衛 小 柳 孝 進 藤 孝 石 橋 孝 赤 塚 孝 服 部 孝 松 岡 孝 福 本 孝 小 林 孝 底 井 孝 藤 森 孝 山 口 保 三 郎 宇 式 孝 鈴 木 孝 澤 村 孝 村 田 孝 鹽 谷 孝 木 下 孝 森 岡 孝

明治三十九年四月入會者

一〇〇	三九、一	——	三九、一〇	岡田千代
三〇	三九、一	——	三九、三	岸邊福雄
一二〇	三九、四	——	四〇、三	齋藤みね
一〇〇	三八、八	——	三九、五	廣瀬たみ
一〇〇	三八、六	——	三九、三	小田むめ
一五〇	三八、三	——	三九、五	小野はな
一五〇	三九、五	——	三九、九	木村茂枝
一〇〇	三八、七	——	三九、四	安藤さつ
四四	三八、一二	——	三九、三	松岡みち
東京赤坂區青山南町一ノ一九	鈴木	綾		
高知縣中村町	小野	ふ	さ	
東京本所區永倉町本所幼稚園	直井	み	ち	
新潟縣三島郡寺治町 ^{尋常} 高等小學校	柳下	こ	い	
新潟縣長岡女子師範學校	横澤	テ	イ	
東京本所區吾妻橋小學校內	白井	初	枝	
鳥取縣米子西町良善幼稚園內	青山	は	る	

